

2. つぎの(1)~(3)にもっとも関係の深いものを、下の□の中から一つずつえらび、その記号を書きなさい。

- (1) 稲作のための労働時間は、むかしとくらべるとたいへん短くなりました。
- (2) 1970年ごろから、政府は、稲の作付面積をへらす政策をおこなっていました。
- (3) 1975年の統計によると、1970年にくらべて兼業農家がふえ、専業農家がへっています。

- ア. 冷害や、台風などのために、稲が大きな被害をうけることがあります。
- イ. 農業をしている人の収入は、工場などで働く人にくらべると少ないです。
- ウ. 稲の品種改良が進み、寒さに強い稲や、おいしい米が作られるようになりました。
- エ. 米の生産量が消費量をうまわり、国の買い入れた米があまるようになりました。
- オ. 田植え、稲刈りなどの農作業に、機械をとり入れるようになりました。

(1)	㉔
(2)	㉕
(3)	㉖

- 16 -

3. 近代工業をささえる条件として、つぎの(1)~(5)のことがらをあげることができます。この(1)~(5)ともっとも関係の深いものを、下の□の中から一つずつえらびその記号を書きなさい。

- (1) 原料の確保
- (2) 用地と用水の確保
- (3) 新しい製品や技術の開発
- (4) 市場の確保とかく大
- (5) 輸送機関の発達と道路の整備

(1)	㉗
(2)	㉘
(3)	㉙
(4)	㉚
(5)	㉛

- ア. 新製品の展示会を開いて、多くの人に見てもらいます。
- イ. すぐれた製品をつくり出そうと、つねに研究をすすめています。
- ウ. 京浜・阪神の工業地帯では、これから大きな工場をたてることはむずかしくなります。
- エ. わが国では、鉄鉱石や鉄くず、石油などを大量に輸入しています。
- オ. 大きな工場は国道ぞいや、港の周辺につくられています。

- 17 -

4. つぎの(1)~(4)のア~エの中から、「伝統的な技術を生かした工業」にあてはまるものを、それぞれ二つずつえらび、その記号を書きなさい。

- (1) 工場のきぼと生産量
  - ア. 大きな工場が多い。
  - イ. 小さな工場が多い。
  - ウ. 生産量が少ない。
  - エ. 生産量が多い。

(1)	㉜
-----	---

(2) 原料と技術

- ア. 原料は外国や他の地方から運んで生産している。
- イ. 原料はその地方でとれるものを利用してはじまつたものが多い。
- ウ. 新しい技術をたくさんとり入れている。
- エ. むかしから伝わっている技術を大切にしている。

(2)	㉝
-----	---

- 18 -

(3) 製品と産地

- ア. 自動車や石油製品。
- イ. 焼き物やぬりもの。
- ウ. 金津若松や九谷。
- エ. 水島や豊田。

(3)	㉞
-----	---

(4) つくり方と人々の生活

- ア. 手づくりによる場合が多い。
- イ. 機械による場合が多い。
- ウ. その地方のむかしからの特産物として、人々に親しまれ役立っている。
- エ. 同じ質の製品が大量に生産され、多くの人々の生活に役立っている。

(4)	㉟
-----	---

—おわり—

- 19 -